

### ダイナミクスによるXML形式の電子紹介状作成

1. 「紹介状」をクリック  
2. 「電子処方書」をクリック  
3. Wをクリック  
4. 電子処方書記入  
5. 必要な薬名・病名を自動入力  
6. XMLに変換して外部ファイル出力  
7. 支援サーバ(URL)に接続し送信 (システムはデジタル署名)

標準語と方言  
日常診療でサマリーをこまめに書く習慣  
病名薬剤自動入力  
コピー&ペースト

インターフェースは無償提供、送料等0.00円

### タイプ3 手で院内lanへ載せ替え

医師が院内LANに電子処方書を作成  
インターネット  
院内LAN  
各診療科から参照

### 添付で大量のデータ送信 (2.0MB)

検査添付  
薬歴添付  
グラフ添付  
画像添付

これだけで患者の病態像が把握できる

### タイプ1 Drが地域医療連絡室へ移動

インターネット  
プリントアウトか移動か

### 電子化されていない病院のケース

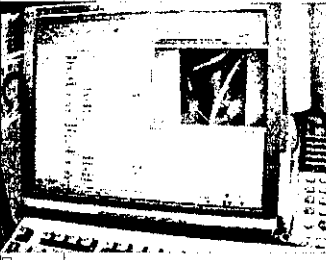
国立大阪病院の地域連絡室  
院内lanへ取り込み

### 電子化されていない病院のケース

診療所からの着信  
大道病院の地域医療連絡室  
プリントアウトしてDRへ届けるか  
DRが地域連絡室へ来室するか

電子化されていない病院のケース 診療所への発信

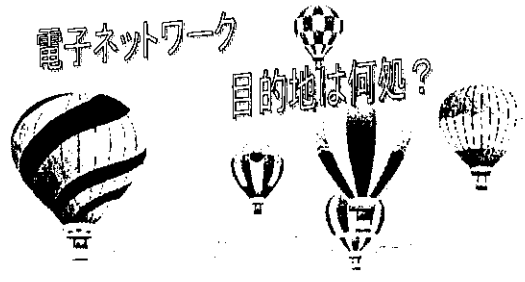
地域連絡室で  
電子紹介状に直記入  
DRが記入か 秘書が代行入力



検査成績  
画像はスキャナで  
取り込んで  
添付して送信

電子ネットワーク

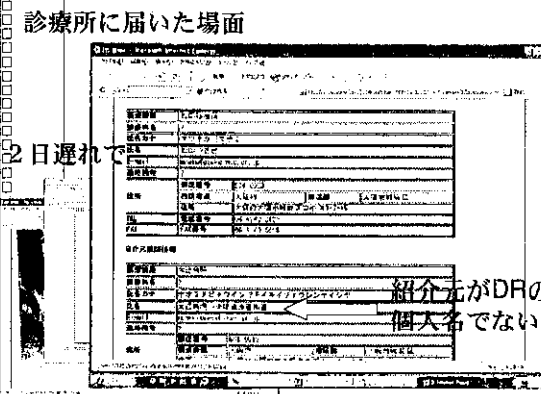
目的地は何処?



上昇エネルギーは何か? --- 理念  
上昇気流 → 地域医療IT連携加算?

診療所に届いた場面

2日遅れて



紹介元がDRの  
個人名でない

着地点

患者の利便のために

効率化

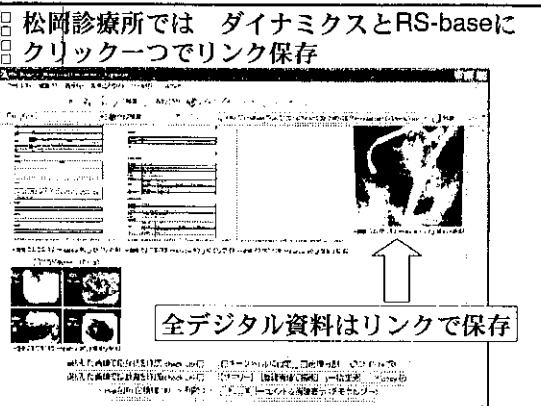
地域医療の構築

医療機関の  
機能分化

有効利用  
医療資源の

日本の医療は 病院完結型から地域完結型への転換期にある

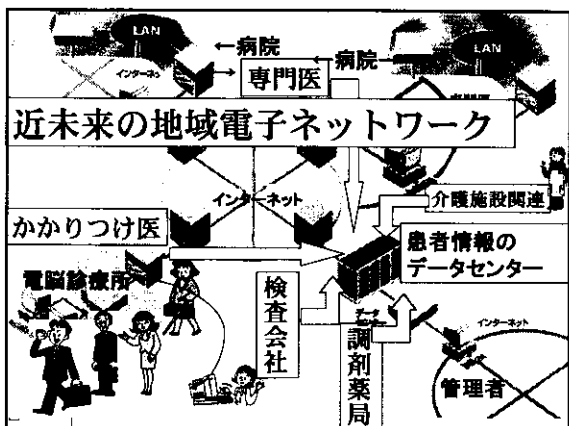
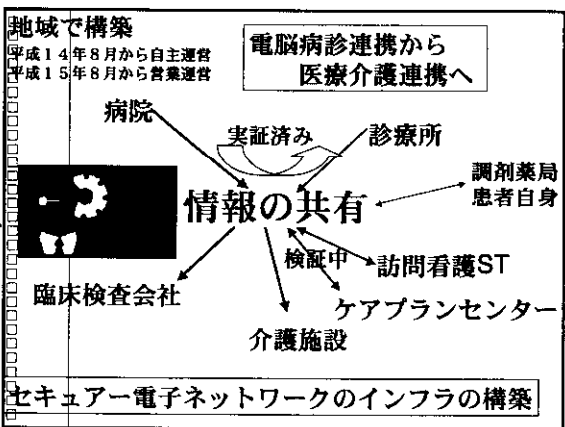
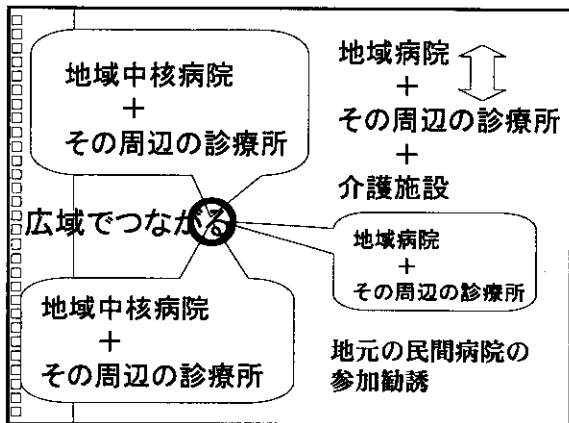
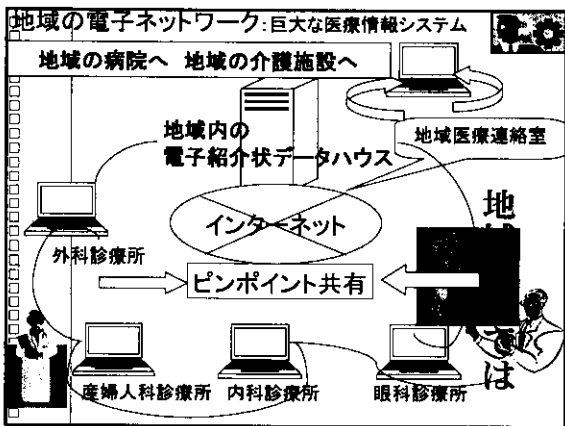
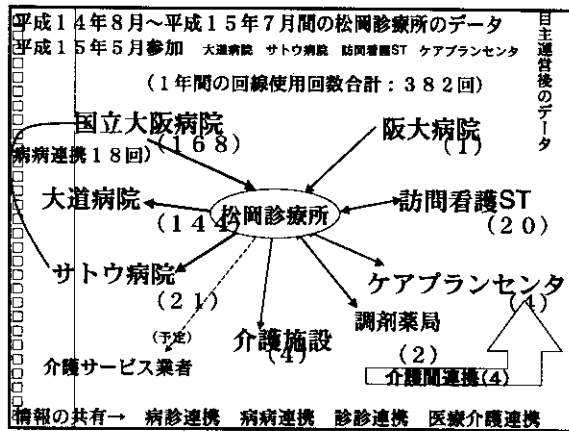
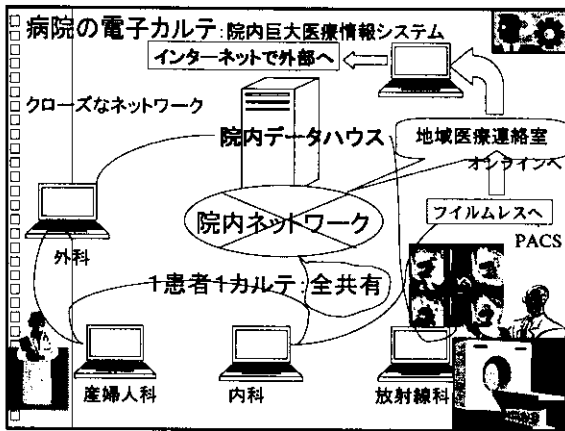
松岡診療所では ダイナミクスとRS-baseに  
クリッカーつでリンク保存



全デジタル資料はリンクで保存

IT診療情報交換の診療報酬請求上の配慮

地域医療IT連携加算の実現



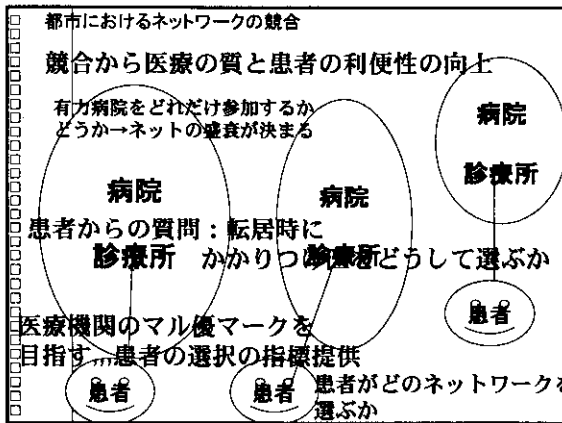
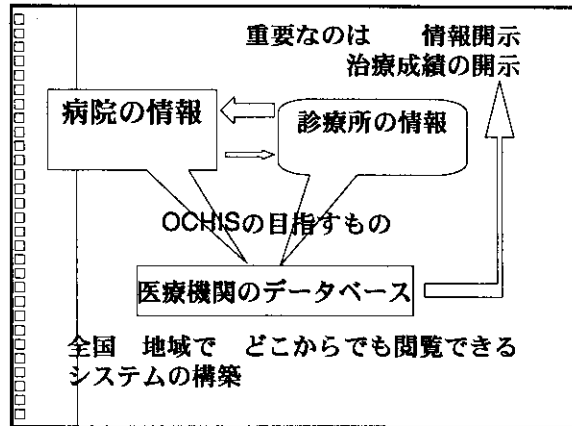
**医療のIT化**

電子カルテのスタンドアロンから

---

**地域での電子ネットワークへの活用へ**

発展するかどうか→患者が選択  
 病院の熱意 ◎  
 理念を共有する仲間がいるかどうか



問題点は、..... 継続して運営するためには  
資金が必要

経営母体

→ NPO  
 県単位の医師会  
 県単位の行政機関  
 医師会病院  
 組合組織  
 株式会社

どの資金と人の面から  
どの経営母体が最適か

OCHISのNPO：1年後にも生きながらえる？  
ご支援をお願い

**OCHIS:**  
 Organization for promoting Community Healthcare Information Systems

大阪プロジェクト 電腦病診連携 非営利団体NPO  
 医療機関 (病院 診療所)  
 介護施設  
 調剤薬局  
 検査会社、.....、患者もアクセス

関西地区での広域ネットワークを目指す  
 →全国へ開放

電子ネットワークの効果を  
証明した

- ①医療の専門性
- ②収益に対する貢献度
- ③医療の生産性の向上
- ④患者満足度の向上
- ⑤治療outcome

電腦連携が選択のポイント

インターネット時代の患者の選択

病院 ← 診療所 ← 患者

医療機関の機能分化を促進

ゲートキーパーとしての  
かかりつけ医の役割の増大

電子化への敷居は高い

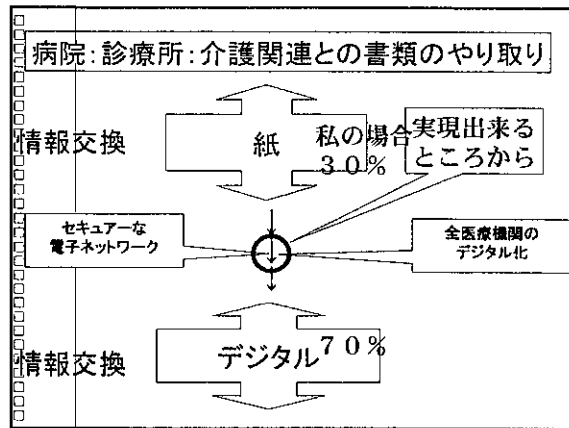
現況観察 進展 意識改革

電腦連携への敷居は低い  
↓↓

95% 手書きカルテ  
画像などの資料は手で運搬

レセプト 20% 手書き  
月初め 超多忙

高速道路をみんなで行こう



電子化への敷居は高い

現況観察 進展 意識改革

電腦連携への敷居は低い  
↓↓

電子カルテ

95% 手書き  
画像などの資料は手で運搬

レセプト 20% 手書き  
月初め 超多忙

探す手間と作成する手間

デジタル化は患者の利便性の向上に役立つ

高速道路は人々の生活を豊かにした

医療ハイウエーは人々の生活を豊かにする  
実現には時間がかかる

OCHISは 簡単 安価 手軽 実用的

理念を共有する仲間が必要

電子化への敷居は高い

現況観察 進展 意識改革

電腦連携への敷居は低い  
↓↓

データが見えない

電子カルテ

95% 手書き  
画像などの資料は手で運搬

レセプト 20% 手書き  
月初め 超多忙

高速道路をみんなで行こう

経済産業省の建設の高速道路  
厚生労働省支援のレセプト


個人的webサイトで実現：：好評

セカンド オピニオン  
遠隔医療コンサルテーション  
無料サイト

インターネットを利用する患者のために  
オンラインの活用

### オンライン症例検討室 セカンドオピニオン

大規模リング参加



患者様の病歴  
検査結果  
診断

1. 肺動脈の拡張  
2. 肺野の浸潤

患者様の病歴  
検査結果  
診断

1. 肺動脈の拡張  
2. 肺野の浸潤

患者様の病歴  
検査結果  
診断

1. 肺動脈の拡張  
2. 肺野の浸潤

患者様の病歴  
検査結果  
診断

1. 肺動脈の拡張  
2. 肺野の浸潤

### インターネットを使用する患者の増加

前院ネット表

患者ID	年齢	性別	病名	検査項目	結果	医師	患者
001	65	男	肺癌	CT	浸潤	田中	田中
002	72	女	肺癌	CT	浸潤	田中	田中
003	58	男	肺癌	CT	浸潤	田中	田中
004	61	女	肺癌	CT	浸潤	田中	田中
005	68	男	肺癌	CT	浸潤	田中	田中
006	70	女	肺癌	CT	浸潤	田中	田中
007	63	男	肺癌	CT	浸潤	田中	田中
008	66	女	肺癌	CT	浸潤	田中	田中
009	69	男	肺癌	CT	浸潤	田中	田中
010	71	女	肺癌	CT	浸潤	田中	田中

患者がデータを送信する時代

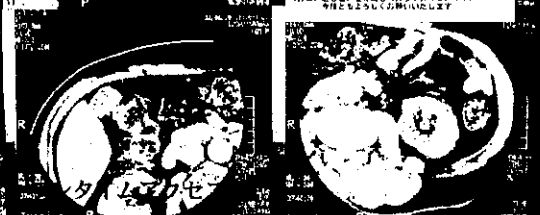
### 松岡診療所の患者さまの部屋: 運営

患者様への通信文 (test)  
平成14年8月26日検査結果  
(2002.02.26)

その後の病状が改善し、以下の検査結果が得られました。以下のような結果となっております。

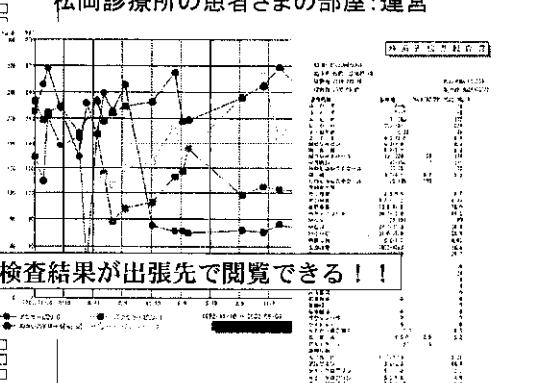
検査結果 (一)  
リウマチ (一)  
尿酸値正常値 (0.11) に少し (0.7) 高かったり余り低くありませんが

検査結果 (一)  
尿酸値正常値 (0.11) に少し (0.7) 高かったり余り低くありませんが



### 松岡診療所の患者さまの部屋: 運営

検査結果が出張先で閲覧できる！！



検査結果が出張先で閲覧できる！！